

石内 都展

- 幼き衣へ -

会期:2014年6月5日(木)~8月23日(土)

会場:LIXILギャラリー

巡回展「背守り 子どもの魔よけ」同時開催



作品名「幼き衣へ」
2013/2014
445×300mm
Cプリント

本リリースに関するお問い合わせ先

LIXIL ギャラリー (<http://www1.lixil.co.jp/gallery/>)

所在地:東京都中央区京橋3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL:GINZA 2F

広報担当:大橋 恵美

TEL.03 5250 6530



<http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

現代美術作家の表現の場である LIXIL ギャラリーの現代美術個展ギャラリーでは、2014年6月5日(木)～8月23日(土)の期間「石内 都展 - 幼き衣へ - 」を開催します。

石内 都は日本を代表する写真家の一人です。2014年には35年の業績に対してハッセルブラッド国際写真賞*を受賞しました。本展では、LIXIL ギャラリー巡回企画展「背守り 子どもの魔よけ」の展示品である子どもの着物を通じて、今はすたれてしまった着物文化の豊かな色彩と、美しい織布からみえる時代の空気と感覚を現在によみがえらせます。新作19点を展示します。

*ハッセルブラッド国際写真賞

スウェーデンのハッセルブラッド財団が1979年に創設した国際的な写真賞。写真界のノーベル賞と称され、過去にアンセル・アダムス、セバスチャン・サルガド、ロバート・フランクなどが受賞。日本人では濱谷浩、杉本博司、石内都が3人目の受賞者。



作品名「幼き衣へ」
2013/2014
445 x 300mm
C プリント

開催概要

「石内 都展 - 幼き衣へ - 」

会 期 2014年6月5日(木)～8月23日(土)

休 館 日 水曜日および8月14日(木)～17日(日)

開館時間 10:00～18:00

企 画 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

入 場 料 無料

会場写真 <http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

会期開始5日目から会場写真をご覧ください。

同時開催 巡回企画展 「背守り 子どもの魔よけ」展

企 画 LIXILギャラリー企画委員会

制 作 株式会社LIXIL

協 力 三瓶清子、真成寺、鳴海友子、日本玩具博物館

展覧会の見どころ

1. 新作「幼き衣へ」

本展では、LIXIL ギャラリー巡回展（東京・大阪）「背守り - 子どもの魔よけ」展の展示品である、「背守り」や「百徳着物」を、日本を代表する写真家 石内 都が撮影した新作 19 点を展示します。

着物の背に縫い取られた母親手づくりのお守り「背守り」や、父母の着物の端切れなど様々な布を合わせて作られた「百徳着物」は、江戸後期から昭和初期に子どもの無事成長を願う母親によって、日本各地で作られていました。それらを収めた作品からは、母親の愛情や子どもの無事を願う祈り、かつてそれらを身につけていた父母の記憶さえも立ちのぼります。

2. 布と記憶にまつわるテーマ

独学で写真を学んだ石内 都は、「写真は真実を写す」という認識を覆す創作活動を行ってきました。これまでの作品には、母の遺品を写した「Mother's - 未来への刻印」（2000 - 2005）や、撮影依頼を受けて始まった原爆資料館の遺品を収めた「ひろしま」（2007 ）、またその遺品の中に多くの絹織物があったことから、出身地である群馬県桐生市に収集されている銘仙に興味を抱いて取り組んだ「絹の夢」（2009 - 2012）などの代表作があります。布や記憶をモチーフに制作されてきた作品には、個の視点を通して社会背景や文化までもが滲みます。

3. 「きものと母」

本個展リーフレットに石内 都が「きものと母」（2000 字）を寄稿しています。幼い頃、毎年お正月に母に着せられていた絹の贅沢な着物のエピソードや、母が着ていた銘仙の着物にまつわる話など、着物を通して伝わる親の愛情や母から娘へと引き継がれる文化について、石内 都が思いを寄せています。本個展リーフレットは、会場にて無料配布致します。

LIXIL ブックレットのご案内



LIXIL BOOKLET 『背守り 子どもの魔よけ』

79 ページ、本体価格 1,800 円+税 会場および全国一般書店にて発売中

写真:石内 都 ISHIUCHI MIYAKO

作者略歴

石内 都 (ISHIUCHI MIYAKO)

群馬県桐生市生まれ。1970 年代後半から写真を始める。初期 3 部作で街の匂い、気配、空気を捉えた作品を発表。同じ年生まれの女性の手と足を収めた作品以降、身体の傷跡を写したシリーズを展開。「Mother's 2000-2005 未来の刻印」でヴェネツィア・ビエンナーレ美術展の第 51 回日本館代表。2007 年にスタートした「ひろしま」は現在も継続している。2012 年には、大正・昭和に流行した着物・銘仙を撮った「絹の夢」を発表。2013 年には写真集「Frida by Ishiuchi」を出版。2014 年、日本人として 3 人目となるハッセルブラッド国際写真賞を受賞。「写真という布を編む」写真家として高い評価を受けた。

「主な受賞」

1979 年 第 4 回木村伊兵衛写真賞

- 1999年 第11回写真の会賞
- 第15回東川国内作家賞
- 2003年 第15回写真の会賞
- 2006年 日本写真協会賞作家賞
- 2009年 第50回毎日芸術賞
- 2011年 第60回神奈川文化賞
- 2013年 紫綬褒章
- 2014年 ハッセルブラッド国際写真賞

「1999年以降の主な個展」

- 1999年 「石内都展 モノクローム 時の器」東京国立近代美術館フィルムセンター：東京
- 2005年 「マザーズ 2000-2005 未来の刻印」第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ：ヴェネツィア
- 2008年 「ひろしま Strings of Time」広島市現代美術館：広島
- 「石内都 ひろしま/ヨコスカ」目黒美術館：東京
- 2009年 「石内都 Infinity 身体のゆくえ」群馬県立近代美術館：群馬
- 2012年 「絹の夢」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館：香川
- 2013年 「Ishiuchi Miyako」Michael Hoppen Gallery：ロンドン
- 2014年 「Ishiuchi Miyako」Hasselblad Center：ヨーテボリ、スウェーデン

「主な出版」

- 1978年 「アパート」写真通信社
- 1979年 「絶唱・横須賀ストーリー」写真通信社
- 1981年 「連夜の街」朝日ソノラマ
- 1990年 「1・9・4・7」I・P・C
- 1993年 「モノクローム」筑摩書房
- 1994年 「1906・to the skin」河出書房新社
- 1995年 「Hiromi 1955」筑摩書房
- 「さわる ChromosomeXY」新潮社
- 2002年 「Mother's」蒼穹舎
- 2005年 「Scars」蒼穹舎
- 2008年 「ひろしま」集英社
- 2009年 「Infinity」求龍堂
- 2010年 「Sweet Home Yokosuka 1976-1980」PPP Editions、ニューヨーク
- 2012年 「絹の夢」青幻舎
- 2013年 「Frida by Ishiuchi」RM、メキシコ
- 2014年 「From ひろしま」求龍堂 7月刊行予定

「主な収蔵先」

- チューリッヒ美術館
- ニューヨーク近代美術館
- ヒューストン美術館
- メトロポリタン美術館
- サンフランシスコ近代美術館
- 国際写真センター・ニューヨーク
- ゲッティ美術館・ロスアンジェルス
- テートモダン・ロンドン
- 東京都写真美術館
- 東京国立近代美術館
- 東京都現代美術館
- 横浜美術館
- 川崎市市民ミュージアム
- 国際交流基金
- 国立国際美術館・大阪
- 徳島県立近代美術館 等